一般質問

２月定例会では４名の議員が一般質問を行いました。一般質問は、現在市が抱えている重要な課題について市長などにただすもので、下の表のとおり質問を行いました。詳しくは６月上旬に発行予定の本会議録を図書館等でご覧ください。

岡田和則……	○大船のまちづくりについて（ＪＲ大船駅構内のバリアフリー化、ＪＲ大船駅西口整備計画、大東橋周辺まちづくりと北口開設、鎌倉女子大開学と大船のまちづくり、交通事故対策と放置自転車等対策、小袋谷跨線橋改修について、防災との関連で大船中学校改築について）
児島　晃……	○教育行政の諸問題について（特に首長からの独立の問題にふれて）
伊藤玲子……	○行財政改革の推進について○教育行政の諸問題について
千　　一……	○ヘルパーの質の向上、講習をいつでも受けられるように○腰越の江ノ電の道路を走る危険について○重度障害児の学童保育について○ガードレールで車椅子がぶつかって、歩行できない歩道について○身体障害者のグループホームの制度化について

大船駅周辺まちづくり
岡田和則　議員

質問…鎌倉女子大学と大船のまちの共存共栄の基本的考え方は。

部長…大学と地域の共生を目指して、平成十二年にまちづくり基本方針をまとめた。大学と地域の着実な発展を図る。

質問…大船駅北口開設に伴う北口と西口を結ぶ自由通路の件だが、西口へ接続するのか。

部長…北口開設時に西口への自由通路の整備予定はない。北口自由通路の西口への接続は、西口整備事業の中で行う。

質問…大船駅西口整備事業計画は改定前の第三次鎌倉市総合計画後期実施計画よりも後退し、事業計画が遅れると考えるが、どうか。

部長…西口整備事業は現計画の見直しを進め、短期的方策に取り組んでいく。また、現時点では鎌倉市単独で西口整備を進める考えはない。

質問…大船駅構内のバリアフリー化について、昨年十一月に鎌倉市はＪＲに要望書を出した。その後の展開はどうか。

部長…ＪＲは北口開設に関する基本協定を横浜市と協議中であり、本件については具体的な協議に入れないところだ。

質問…ビッグオレンジの建設に伴い、三千四台分の自転車駐輪場が整備される。その受け皿として、大船のまちの駐輪場対策をどうするのか。

部長…東口再開発事業に支障がなければ、名取跡地を活用したい。また、公有地の活用について、駅周辺の国有地を考えている。収容台数は五百台程度。時期は早期にと考える。

質問…大船中学校はミニ防災拠点として位置付けられているが、耐震補強計画から外されている。どうするのか。

部長…改築で対応したい。新たに策定予定の学校施設整備計画で、方針を明らかにしたい。

質問…大船中学校の改築を早く実施すべき。強く要望する。大船の広域避難場所は、鎌倉カントリークラブでは遠すぎる。鎌倉女子大はどうか。

部長…広域避難場所の指定が可能であれば、依頼したい。

質問…小袋谷こ線橋は築七十年を経過し、阪神淡路大震災級の地震が起きれば落橋し横須賀線が下を走っている関係から大惨事になると考えるが。

市長…早期着手、早期完成を神奈川県へ要望する。

身体障害者のグループホーム制度を鎌倉にも
千　一　議員

質問…ヘルパーの質の向上を図るため、仕事を始めた後でも研修を受けられるようにしてほしい。

部長…ホームヘルパーの資格を持っている方を対象に技能向上等を図るための資質向上研修を実施している。ＮＰＯ等関係団体と連携をとりながら研修の機会を増やしていこうと考えている。

質問…腰越で江ノ電が道路を走ることに伴う危険についてどう考え、対策を講じるのか。

部長…道路管理者だけでなく、鎌倉警察署、江ノ島電鉄等含め協議・検討をし、できるところから対応していきたい。

質問…学童保育における重度障害児の介助については、保護者がボランティアやＮＰＯ法人に頼んでいるのが現状だ。先進事例がないからと、責任や安全性を家族に押し付けず、公的に介助を付けてほしい。

部長…事例がないことから、子どもの家入所選考委員会で引き続き協議を行うとともに、福祉の各部門や学校を含めた広い視点から研究していきたい。なお、子どもの家の利用は平成十五年度から有料化となるが、介助人を常時付ける必要のある重度障害児については利用料の減免の適用を検討していきたい。

質問…現在、国の制度としては知的障害者及び精神障害者のグループホームしかない。身体障害者が施設という枠に閉じ込められずに、個々の生き方を尊重し合い、自立を模索できるようになるためにも、身体障害者のグループホームを制度化してほしい。施設では、入浴回数が少ないなど生活面の制限が多い。市長は週に何回、お風呂に入っているのか、また、身体障害者のグループホームの制度化に対する市長の見解を聞きたい。

市長…私は毎日お風呂に入っている。また、制度化については、施設では団体での活動が必要だが、グループホームは一定の規律の中での自由な生活があることは、現行の知的障害者あるいは精神障害者のグループホームでの障害者の生活から理解しているところである。国の制度にもない新しい制度を考えるためには、利用者の方々と一緒に課題の整理等研究する必要がある。

教育行政の中立性、安定性を侵す機構改革
児島　晃　議員

質問…昨年十二月、教育委員会の所管である生涯学習部をなぜ市長部局に移そうとしたのか、また、それを急きょ取り下げた理由は何か。

市長…社会の動向に合わせ、問題解決型の簡素で効率的な組織・機構を目指したが、文部科学省から教育委員会の中立性などについて不適切との見解が示されたため再検討することとした。

質問…文部科学省は「そもそも教育委員会の制度は、教育行政における中立性、安定性の確保が極めて重要であるという認識のもとに、首長から独立した合議制の執行機関を設けるというのがこの教育委員会の趣旨であり…教育委員会制度の趣旨から見て適切ではない」と指摘している。

　ところが今回の組織改革案にも根本において旧案と同じ誤りがある。新案では、市長特命で生涯学習推進担当を置き、この部長に生涯学習部長を兼務させるとのことだが、特命の部長を置く目的は何か。

市長…生涯学習の分野はすそ野が広がっており、総合的・一体的に行う必要がある。

質問…総合的・一体的運営の課題は企画部が扱っている。あえて特命部長を置く必要はない。また、文化推進課という恒常的組織の上に臨時的部署である特命部長をなぜ置くのか。特命担当は特定の課題に専念して取り組む臨時的部署であり、特命に兼務はあり得ない。このような異例の措置をなぜとるのか。

市長…事務改善委員会の提案を受けて、現在検討しているところである。

質問…議会の議決がなくて済む市長の人事権を行使して特命部長を置き、その部長に生涯学習部長を兼務させるというこの異例の措置は、教育委員会の独立性を侵害することにつながるものであり重大だ。

市長…鎌倉市あるいは鎌倉市民のことを考えて行政課題として重要であると判断して設置するものである。

質問…生涯学習をどう前進させるかについての具体的な検討がないままの機構改革であることも問題である。

市長…社会の情勢に応じて、適応した組織を検討したものである。

行財政改革と教育行政の諸問題
伊藤玲子　議員

質問…助役、部長は交渉に何回出たか。

助役…一回出席。

企画部長…一回出席。

総務部長…二回出席。

質問…両部長とも市長、助役が出るときに、付いて行くだけ。次長、課長が財政状況の説明をしているのが四回だ。予算編成に係る重大な交渉だ。四月一日実施には一月二十日がタイムリミットと労使で確認しておきながらこんな交渉でいいのか。部長たちは自分から出席して組合を説得する意気込みがないのか。市長、助役、部長も精力的に取り組み、行動と実績を示してほしい。

《教育行政の諸問題について》

質問…学校長が学校管理者として機能していない。

教育長…校長は児童・生徒・教職員の生命安全を守ることを学校経営の第一義と考え、一日三回は校内巡視をしている。

質問…校長は卒業式・入学式に「君が代」斉唱を教育長から指導されていながら教職員の反対で実施できずにいる。主任の任命権も教職員に奪われている。教育委員会はこの違法行為を何年も放置してきた責任があると思うが。

教育長…本年度は斉唱できるものと思っている。主任制も改善されつつある。

質問…北朝鮮の拉致問題は国家の主権の侵害と人権のじゅうりん、国家犯罪の最も身近な実例として学校で教えるべきと思うが。

教育長…国際問題の教材として学校内でよく話し合って、児童・生徒の発達段階などを踏まえた上で、扱うべきと思う。

質問…日教組は北朝鮮と友好関係にあり、一月の教研集会でも拉致問題は無視されている。槙枝元委員長は北朝鮮を賛美している。このような組合教師たちの授業を教育委員会はしっかり監督してもらいたい。

《行財政改革について》

質問…平成十五から十七年度の財源不足のため管理職五％、他職員四％の給与削減を四月一日から実施すると昨年十二月新聞発表した。市長は一月二十日組合交渉に出席し交渉継続を約束したが、その後組合と交渉したか。助役以下の部下にどのように指示したか。

市長…一月二十日以降出席していない。提示期限の四月一日に実施できるよう指示した。

鎌倉芸術館周辺を中心に地域の発展が期待される
（左は鎌倉芸術館、右は鎌倉女子大学）

議会のホームページを開設しています

議会の流れ、傍聴方法、請願・陳情の出し方、日程などをお知らせしていますのでご覧ください。

アドレス…

http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.htm

市のホームページ（かまくらグリーンネット）からもアクセスできます。